

曇川排水機場 概要

一級河川 曇川 (延長約 7.5km、流域面積 23.3 km ²)		
	新排水機場	現排水機場
機場名	曇川排水機場(仮称)	曇川ポンプ場
計画排水量	26m ³ /s	21 m ³ /s
ポンプ規格	8.67m ³ /s 立軸斜流ポンプ φ1800mm×3 台	7m ³ /s 横軸斜流ポンプ φ1800mm×3 台
駆動機関	ガスタービン	ディーゼル機関
機場構造	RC 構造, 二床式	RC 構造
基礎形式	直接基礎	直接基礎
設置位置	加古川市神野町西之山、新神野 8 丁目	加古川市神野町西之山
建設年度	平成 27 年度	昭和 38 年度(1 号機)、昭和 39 年度(2、3 号機)



写真-1 整備位置



図-1 完成予想図

河川整備計画における位置づけ

曇川排水機場は、昭和 58 年 9 月の台風 10 号相当(約 1/30 年確率)の洪水を対象に曇川樋門地点での内水位を計画高水位以下に抑えることを目的とし、計画排水量を 26 m³/s として平成 16 年度に策定した『加古川水系下流圏域 河川整備計画』で計画されている。

曇川内水時(曇川樋門閉鎖時)には、排水機場より 26m³/s を加古川本川に排水し、30 m³/s を別府川に分派する計画となっている(図-2 参照)。

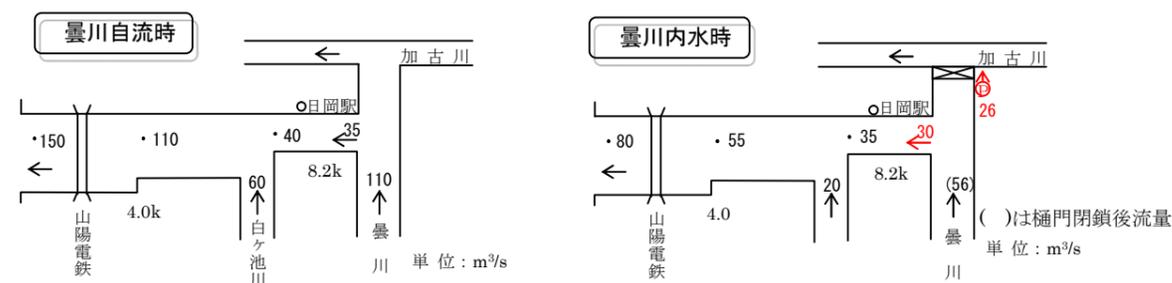


図-2 別府川・曇川整備目標流量配分図

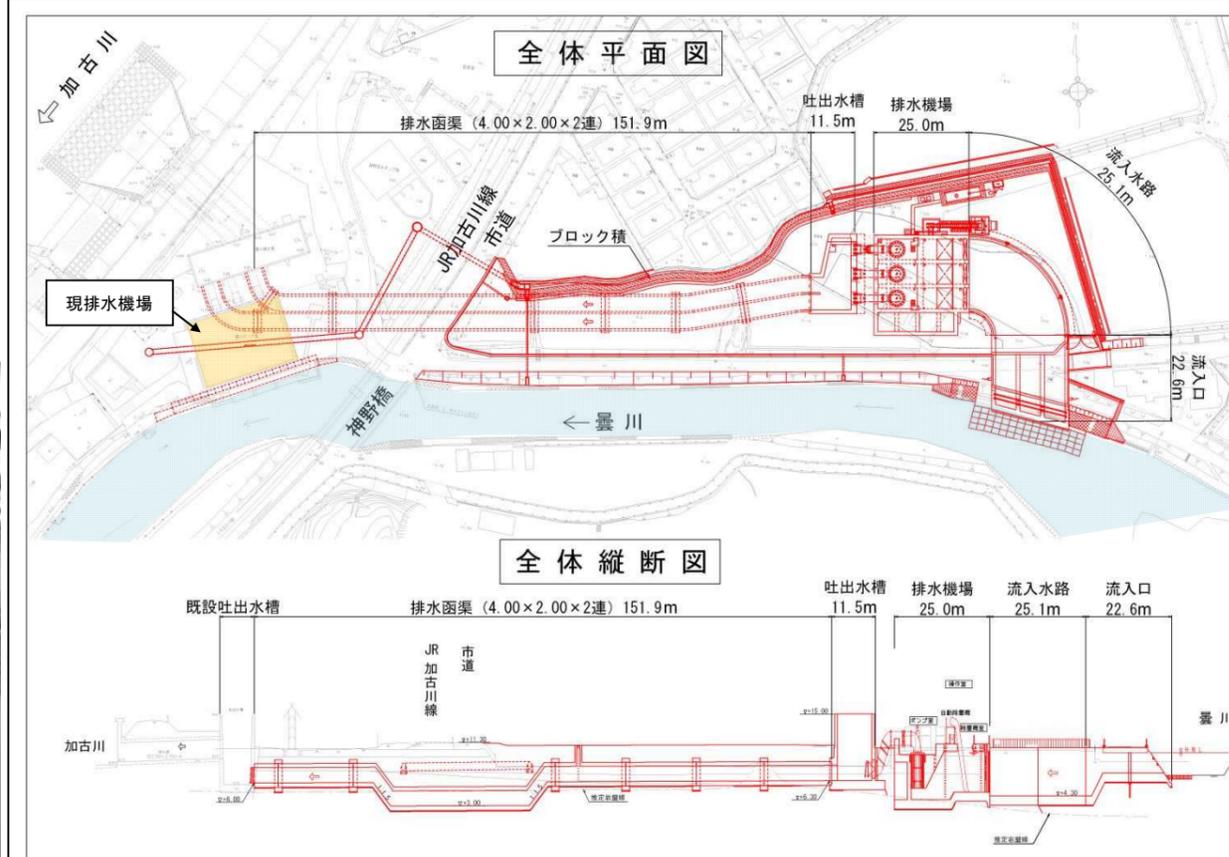


図-3 全体平面図・縦断図



写真-2 新排水機場(外観)



写真-3 新排水機場(機場内部)